

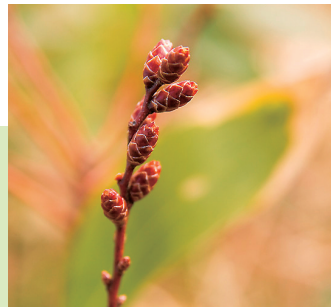


景百延幌

撮影者/山下 智昭

パンケ沼春間近

ヤチヤナギ芽吹き



残雪山肌

窓の裏のほろ

■3月11日、未曾有の大災害が発生しました。東北地方太平洋沖地震です。

■マグニチュード9.0という最大級の震度に加え、その脅威をまざまざと私たちに見せ付けたのが津波でした。

■日本は周囲を海に囲まれた島国であり、地震や津波とは常に背中合わせにあります。TUNAMIは今や国際語でもあるのです。こうした自然災害は、いつ自分の身に降りかかるかも分からないものなのに、普段、そういったことを忘れてしまっている自分があります。今一度、防災について考えてみる必要があります。

■テレビ画面に映し出される被災地の姿は、見るものを愕然とさせ、無力な人間の力を思い知らされます。でも、私たちには知恵があります。支えあう心があります。

■過去にたくさんの大規模災害に見舞われ、そのたびに力強く復興してきた逞しさ、それを支えてきた人たちの優しさ、それらは私たち日本人の誇りです。私たちにも、何かできることがあるはずですよ。

■この災害で亡くなられた方のご冥福と、被災された方が一日も早く安心して暮らせる日常を取り戻せるよう、祈らずにはいられません。

【総務課企画振興グループ】

● 広報誌へのご意見 ご要望をお寄せください ●

総務課企画振興グループ ☎5-1111 【内線】222・223

	(平成23年2月末日現在)	男	1,317	(±0)
	※()内は前月比	女	1,297	(+2)
		計	2,614	(+2)
		世帯数	1,263	(+1)



わが家のエンジェル



堀江 大河くん
 (平成22年7月6日生・5歳1)
 お父さん 和彦さん
 お母さん 宏美さん
 お気に入りのネコのぬいぐるみと一緒に、お座りや寝返りの練習に余念のない大河くん。早く外で遊びたくてウズウズしています。



植村 果音ちゃん
 (平成22年7月13日生・上幌延)
 お父さん 努さん
 お母さん 祐貴子さん
 お兄ちゃんたちと一緒に遊びたくて、あいたに割り込んでいく果音ちゃん。いろいろなことに興味が出てきて、何にでも触ろうとしています。



野々村 歩くん
 (平成22年7月24日生・中間寒)
 お父さん 貴浩さん
 お母さん 由貴さん
 ハイハイが出来るようになってきて、目が離せなくなってきた歩くん。最近のお気に入りにはヨーグルト。健康にも気を使っています。

平成23年4月 発行/天塩郡幌延町
 企画・編集/総務課企画振興グループ ☎5-1111(223)
 幌延町ホームページアドレス/ <http://www.town.horonobe.hokkaido.jp>
 メールアドレス/ webmaster@town.horonobe.hokkaido.jp



この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。